

# カルテ

KARTE



1人暮らしの三男(61)のことで相談です。品物を買うことが生活の一部となり、足の置き場がないほど物であふれていたごみ屋敷から昨年引っ越したのですが、新居でも物が増えてきました。「病的」と思うのですが、どう対処すればいいのでしょうか。(91歳、男性)

## ためこみ症

「相談の状況から、「ためこみ症」に該当すると思われる。英語圏の論文では強迫性障害に近いとされています。

よく「買い物依存症」と混同されやすいのですが、「買い物依存症」は衝動制御障害の一つであり、アルコールや

行為に依存する典型的な例がギャンブル依存症です。ギャンブルも買い物も、その行為をしている瞬間に高揚感や非日常的な全能感が生まれ、それが嗜癖性につながります。依存症はコントロール障害であり、簡単に言えば「わかつちやいるけれども、やめ

では「コレクター」も一種でしょう。嗜癖性はなく、多くの場合で治療意欲はありません。生活や社会的な破綻も起こさないため、ためこみ症自体を治療するのは困難です。ただ、自己破産といった経済的問題や生活破綻があれば買い物依存症を重複している

だきたいと思います。関係性を見直す中で、本人に病識(おかしいという認識)と、治したいという意識を持つてもらうことが、治療の第一歩になります。(兵庫豊医師会、幸地芳朗|神戸市中央区、幸地クリニック院長)  
◇第1、3、4日曜に掲載します

## まず家族が支援プログラム受講を

薬物など物質に依存するのではなく、「買い物」という行為に依存します。買ってしまつた商品に関心はなく、包装を解かずに箱のまま部屋に山積みされることが大半です。通常の収入では払いきれない債務を作つて自己破産するなど生活の破綻を来します。

られない」状態です。これに対し、「ためこみ症」は、広告のチラシや壊れた電化製品、その他のいろいろな物を、置く場所もないのにつか役に立つと思つてためていきます。客観的に価値はない物でも本人にとっては価値があり、最も程度が軽いもの

可能性もあります。また、統合失調症や高機能自閉症、アルコール依存症などの合併症や随伴症状で現れる例も多くあります。これらの主要症状があれば、まずご家族が、クリニックや家族会などの「家族支援プログラム」を受講していた